

## プロジェクト 「海業」の推進による漁村の活性化

## 目 標

・海業の取組 R4：0件 → R10：4件

## 挑戦する内容

- ・漁業関係者の意識醸成
- ・漁業者が主体となる消費拡大イベントの開催
- ・漁港や藻場を活用した漁業体験の推進と普及

関係者の声  
=対話

- ・県内の漁業者同士が連携し、新しい事業にチャレンジしたい（漁業者）
- ・漁業や漁業者に対するイメージが悪い（漁業者）
- ・魚を食べる人が減少（漁業者）
- ・漁村のにぎわいが急速に失われている（漁業者）

## 役割分担

- ・漁業者：消費拡大イベントの内容の考案・実施、SNSの発信、漁業体験プログラムの開発及び現場作業
- ・県：関係者の意識醸成、海業に関する情報発信、座談会等の開催、漁業体験観光を担う人財の育成

## 変革後の姿

- ・漁業者の接客力や販売意欲の向上と、漁業に対するイメージ向上による新規就業者の増加
- ・漁村を訪れる観光客の増加により漁村地域のにぎわいが創出され、地域経済が活性化

## 令和6年度計画

## 挑戦する内容

- 1 漁業関係者の意識醸成
  - ・漁村地域一体となって漁村の将来に向け、自らが検討・取組を推進する体制をつくり、漁業関係者の意識を醸成
- 2 漁業者が主体となる消費拡大イベントの開催
  - ・海業の取組の展開や漁業者のイメージアップを図る取組などを開催
  - ・漁師自らが後継者や人手確保のために行動する機会を創出
- 3 漁港や藻場を活用した漁業体験の推進と普及
  - ・漁港や藻場を活用した漁業体験観光を担う人財を育成
  - ・漁業体験観光の普及



漁業者による調理講習会



ウニ採り体験

## 対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・県内4地域において地域座談会を開催し、漁業関係者と各浜の現状と課題の把握、めざす未来の姿などについて議論し、具体的な取組に反映（年3回）
- ・漁師が主体となる消費拡大イベントについての説明会において、漁業関係者の意見を収集し、同イベントの集客方法や内容等に反映（年3回）
- ・担い手育成研修実施に向けた検討会を開催し、漁業関係者との意見を収集し、研修会プログラムに反映（年3回）